

令和2（2020）年度 麗澤中学・高等学校 学校評価

麗澤教育の理念

麗澤教育は、創立者廣池千九郎が提唱した道徳科学「モラロジー」に基づく知徳一体の教育を基本理念とし、学生生徒の心に仁愛の精神を培い、その上に現代の科学、技術、知識を修得させ、国家、社会の発展と人類の安心、平和、幸福の実現に寄与できる人物を育成する。

麗澤教育のめざす人間像

1. 大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い叡智を備えた人物
2. 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物
3. 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物

自己評価

1. 令和2年度 麗澤中学・高等学校の重点目標

【評価】 A. よく実施できた B. 実施できた C. 不十分であった

1. 各学年が掲げる進路目標、学習達成目標の実現に向けて、学年部長を中心に教育内容の充実を図る。(B)
2. ICT教育の実用化に向けて、施設整備を進めると共に、教員の活用能力を高めることで、本校の教育の質の更なる向上を図る。(A)
3. 寮体制の改善を進めることにより、男女寮における学習体制の充実を図り、質の高い寮生数の増加を図る。(B)
4. 女子ラグビー部の強化指導部体制を整え、チーム力向上に努める。(A)
5. 中学入試および高校入試においてより高い質の志願者数の増加を目指して、中高入試のあり方について見直しを進める。(B)
6. より効果的な広報活動のために、校内外の広報イベントの大幅な見直しを図り、塾や外部機関との関係強化を行う。(A)
7. 現在推進中の新しい勤務体制の更なる充実を図ることにより、教員の業務の効率化を推進すると共に、教員間の業務の適正な配分の実現を目指す。(C)
8. 教員の超過勤務を更に縮減することにより、働きやすい充実した職場環境実現を目指す。(C)

2. 生徒による授業評価アンケート

本校では、過去 25 年間、北辰図書株式会社および株式会社ブレーンアカデミーが実施する授業評価アンケートを行ってきたが、教員の授業の改善にとってよりプラスになると判断して、令和元(2019)年度より、新たに代々木ゼミナール教育研究所によるアンケートに変更し、内容を一新した。このアンケートは、中学校、高等学校それぞれ全クラスの生徒に対して、生徒が受けるすべての授業を評価するものである。

[アンケートに記載されている質問]

1. 先生の話し方は、聞き取りやすく、メリハリがあって、理解しやすい。【話し方】
2. 授業の目的や到達目標、予習・復習を含む授業への取り組み方や活用方法について、先生は事前に十分な説明をしてくれる。【ガイダンス】
3. 先生の説明は組み立てや例示が工夫され、理解を確認しながら授業が進められている。【説明工夫】
4. 《教壇系》板書(パワーポイント等の自作教材を含む)は、見やすく整理されており、復習する時に役立っている。【板書】
4. 《実技系》先生の指示や授業の決まり事は明瞭で、戸惑いなく行動できる。【指示】
5. 《教壇系》授業では集中できる環境を整えるための助言や工夫が随時なされ、宿題・課題・テストを通じて、授業で学んだことを応用する機会がきちんと設けられている。【助言】
5. 《実技系》授業内では、必要に応じて集中できる環境を整えるための工夫がなされ、技能・発表・作品等について授業で示された観点で評価され開演への助言が与えられる。【助言】
6. 先生の授業には熱意を感じる。【熱意】
7. この授業を受けて、進路実現に向けての学力や技能の向上を実感できている。【学習効果】
8. 私は、この授業(学習や練習、課題など)に積極的に取り組んでいる。【意識・姿勢】
9. 授業の進み方(スピード)は、あなたにとってどうですか。【進み方】
10. 教材や課題の難易度はあなたにとってどうですか。【難易度】

※ 上記の回答方法

質問 1～7 については、

「非常によく当てはまる」(10点)、「よく当てはまる」(8点)

「どちらかといえば当てはまる」(6点)、「あまり当てはまらない」(4点)

「当てはまらない」(2点)

の5つの回答から1つを選択する。

質問 8 については、「非常によくあてはまる」(10点)、「よくあてはまる」(5点)

「どちらかといえば当てはまる」(0点)、「あまり当てはまらない」(-5点)

「当てはまらない」(-10点)

質問 9 については、「速すぎる」(10点)、「やや速い」(5点)、「ちょうどいい」(0点)

「やや遅い」(-5点)「遅すぎる」(-10点)の5つの回答から1つを選択する。

質問 10 については「難しすぎる」(10点)「やや難しい」(5点)「ちょうどいい」(0点)

「やや易しい」(-5点)、「易すぎる」(-10点)の5つの回答から1つを選択する。

中学（1年生～3年生）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
年度	全体平均	話し方	ガイダンス	説明工夫	板書指示	助言	熱意	学習効果	意識姿勢	進み方	難易度
2019	82.7	83.6	83.3	83.0	83.1	82.7	84.0	79.7	5.8	1.4	1.6
2020	83.7	84.6	83.9	84.3	84.4	83.7	85.0	80.0	4.7	1.3	1.6

高校（1年生～3年生）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
年度	全体平均	話し方	ガイダンス	説明工夫	板書指示	助言	熱意	学習効果	意識姿勢	進み方	難易度
2019	82.4	82.8	82.3	82.4	83.0	82.9	84.9	78.8	5.8	1.5	1.8
2020	81.9	81.5	81.7	82.2	82.5	82.3	84.3	78.9	4.4	1.2	1.5

〔評価の見方〕

- ・ 質問1～7については、回答者（生徒）各自の点数を総合したものを得点率（％）で表示している。
- ・ 質問8～10については、回答者（生徒）各自の点数を平均した点数（10点満点）で表示している。
- ・ 質問1～7については、100％は「すべての生徒が非常によく当てはまると回答」した場合であり、50％は「生徒の評価がプラスとマイナスの中間点に位置する」場合であり、20％は「すべての生徒が当てはまらないと回答」した場合である。
- ・ 質問8については、10点は「すべての生徒が非常によく当てはまると回答」した場合であり、0点は「すべての生徒がどちらかといえば当てはまると回答」した場合であり、-10点は「すべての生徒が当てはまらないと回答」した場合である。
- ・ 質問9については、10点は「すべての生徒が速すぎると回答」した場合であり、0点は「すべての生徒がちょうどいいと回答」した場合であり、-10点は「すべての生徒が遅すぎると回答」した場合である。
- ・ 質問10については、10点は「すべての生徒が難しすぎると回答」した場合であり、0点は「すべての生徒がちょうどいいと回答」した場合であり、-10点は「すべての生徒が易しすぎると回答」した場合である。
- ・ 全体平均の値は、中高ともに、質問1～7の総合得点を平均化した数値であり、学校全体の平均値を意味している。

〔講評〕

- ・ 「授業評価」については、中学校は、7項目すべてにおいて昨年より上回り、全体平均も1.0ポイント上昇した。最も高い評価が昨年に引き続き「熱意」であり、学習効果も80%に到達することができた。これに対して高校は、全体平均が0.5ポイント下降したが、「学習効果」のみが0.1ポイント上昇することができた。
- ・ 生徒の授業に臨む「意識・姿勢」については、中学は-1.1ポイント、高校は-1.4ポイントと共に少しさがあるが、生徒自身の自分の授業に臨む姿勢に対する自己評価がやや厳しくなっていることを示している。つまり昨年度に比べてもっと前向きに受講すべきだと考えていると解釈できる。
- ・ 授業進度については、本校では高い進路目標を実現するためには、「授業速度」を一定の速度で進める必要があると考えている。すなわちより速く進め、それに着いていける生徒を養成したいと考えているため、進度が速いことが高い評価につながる形にしている。その点で、今回中学が昨年より-0.1ポイント、高校が-0.3ポイントとなっていることから「やや速い」から「ちょうどいい速さ」へと、少しシフトしたと考えられる。つまり生徒の学力レベルと授業レベルが昨年度より適合化し、授業進度について来られる生徒が少し増えたと考えることができる。
- ・ 授業難易度についても、同様に高い進路目標を実現するためには、「授業難易度」を生徒の状況に合わせて少し高めに設定することを目指しており、難度が高いことが高い評価につながる形にしている。今回、中学が「1.6」と昨年度と変わらず、高校が「1.5」と昨年度より-0.3ポイントとなっていることから、高校については、学校の授業難度により多くの生徒が適応するようになったと考えることができる。
- ・ このアンケートにおいては、目標到達値を各項目とも「75%」と設定しており、75%以上であれば、全体として一定水準以上の授業が行われていると考える。このアンケートを採用している中高は全国で約140校であり、その中で「75%到達率（75%以上であった生徒の校内比率）」の平均値は約「50%」となっている。本校の場合、「75%到達率」は、中学が「86.1%」、高校が「86.0%」となっており、中高ともに、全国平均の50%を大きく上回っている。全体的に生徒の授業に対する満足度は高いと考えられる。

学校関係者評価

学校評価委員による学校評価

実施日：令和3年2月12日（金）、13日（土）

評価委員：36名（中高保護者会役員）

*（ ）の中の数字は評価委員の人数である。

* 評価委員による評価がない場合もある。

評価：A=良好、B=普通、C=気になる、D=よくわからない

1. 授業に関して

⇒ 教員の情熱を感じることができるか。（A(17) B(12) C(0) D(0)）

⇒ 生徒は意欲的に授業を受けているか。（A(9) B(19) C(1) D(0)）

⇒ 教員の板書の仕方、声の大きさ、全体への配慮はどうか。（A(14) B(14) C(1) D(0)）

所見

- ・先生がコロナ禍の中でも工夫（声、動作、スクリーン、板書、タブレット活用など）して授業を展開されていた。（10）
- ・生徒も熱心かつ楽しそうに授業を受けていた。（6）
- ・コロナ禍のマスク着用のせいかな声の聞き取りにくい先生の授業があった。（5）
- ・クラスによる教え方の違いや進め方の違いがあり、生徒の授業への効果に差があるように感じた。（5）
- ・コロナ禍のせいかな一方的な授業が多く、生徒も活発な反応ができないのか静かな授業が多く感じた。（2）
- ・OHPが暗いと感じた。（1）

2. 部活動に関して

⇒ 部活動の顧問は熱心に指導しているか。（A(9) B(5) C(1) D(1)）

⇒ 生徒は生き生きと部活動に参加しているか。（A(11) B(4) C(0) D(1)）

⇒ 部活動の終了時間は守られているか。（A(6) B(5) C(1) D(3)）

⇒ 施設や設備は十分に整い、安全性は保たれているか。（A(5) B(4) C(4) D(2)）

所見

- ・普段見ることのできない活動をみることでよかった。（1）
- ・生徒は生き生きと活動できていた。（1）
- ・換気はできていた。（1）
- ・ソーシャルディスタンスはとれていた。（1）
- ・活動時間が限られているので、もう少し時間を有効に使えばいいと思う。（2）
- ・終了後の片付け等で遅くなる。（2）
- ・外の部活で着替える場所がないのが気になる。部室が古いかない部がある。（5）
- ・マスクをしている人としていない人がいた。（1）

3. 生徒指導に関して

⇒ 生徒の服装や言葉遣いは適切であるか。（A(10) B(6) C(1) D(0)）

⇒ 登下校中（歩行、バス）のマナーは守られているか。（A(7) B(4) C(2) D(2)）

⇒ 教員は生徒指導に積極的にかかわっているか。（A(13) B(1) C(1) D(1)）

⇒ 挨拶ができていないか。（A(8) B(6) C(3) D(0)）

所見

- ・挨拶がよくできていた。(3)
- ・服装指導は適切に行えていると思った。(2)
- ・挨拶は学年によって違うと思った。(1)
- ・服装の乱れが気になる生徒もいた。(1)
- ・登校時、南柏駅で中学生が数名集まってゲームをしているのが気になった。(2)
- ・毎朝バス当番の先生、本当にご苦労様です。(1)

4. 放課後の学習指導および個別指導に関して

- ⇒ 課外学習や夜間講座に取り組む生徒の意欲はどうか。(A(7) B(4) C(0) D(1))
- ⇒ 教師は生徒との面談や個別指導に熱心に対応しているか。(A(7) B(2) C(0) D(1))
- ⇒ メディアセンターの学習雰囲気はどうか。(A(6) B(3) C(0) D(1))

所見

- ・メディアセンターで自習をしたり、質問コーナーで先生から個別指導を受けたりするなど、熱心に取り組んでいた。(3)
- ・夜間講座やプロジェクト叡智の授業が充実していて、生徒も熱心に受けているのがよかった。(4)
- ・メディアセンターではお薦めの本が展示されていたり、小論文コーナーがあったりして、施設のにも充実していると感じた。(2)

5. 教職員に関して

- ⇒ 言葉遣いや服装は適切で好ましいか。(A(26) B(3) C(0) D(0))
- ⇒ 挨拶ができているか。(A(28) B(1) C(0) D(0))
- ⇒ 教員室は整理整頓されているか。(A(8) B(4) C(2) D(2))
- ⇒ 事務室の職員の対応は適切であるか。(A(20) B(2) C(0) D(1))

所見

- ・教職員は皆、丁寧に挨拶をしてくれるなど、好感が持てる。(5)
- ・朝から夜(寮や夜間講座の場合)まで、いつも熱心に指導をしていただき、感謝している。(4)
- ・職員室がやや雑然としている机が見られた。(2)

6. 校舎内の美化に関して

- ⇒ 教室やトイレの清掃は徹底されているか。(A(17) B(9) C(1) D(0))
- ⇒ 整理整頓はされているか。破損箇所はないか。(A(14) B(8) C(4) D(0))

所見

- ・全般的にはきれいだと思う。(4)
- ・教室で、机回りのカバンの放置や私物が整理されていない所が見られた。(3)
- ・生徒ロッカーがやや古く、扉の壊れたり、外れているものがあった。(3)
- ・校舎内の一部のトイレが手洗いの排水口が詰まっていたり、ゴミ箱からゴミがあふれている場所があった。(1)

7. 寮生活に関して

- ⇒ 麗寮の理念が全体に行きわたっているか。(A(5) B(2) C(0) D(1))
- ⇒ 寮担任と寮生とは信頼関係で結ばれているか。(A(8) B(0) C(0) D(1))
- ⇒ 寮生は和やかな雰囲気の中で生活をしているか。(A(7) B(1) C(0) D(1))
- ⇒ 寮内の清掃は隅々まで徹底されているか。(A(7) B(1) C(0) D(1))
- ⇒ 寮生の個室は整理整頓されているか。(A(4) B(4) C(0) D(1))
- ⇒ 日課に従った生活をしているか。(A(7) B(1) C(0) D(1))

所見

- ・寮内で感染対策をとられているので安心した。(1)
- ・大人以上に規則正しい生活ができていると感じた。(3)
- ・寮生活では、夕礼を通して大切なことを学び、子どもたちにとって価値あることが学べていると感じた。(2)
- ・この寮生活がもっと普及することを願っている。(1)
- ・寮の仲間も素晴らしく、息子の成長した姿をみることができた。(1)

8. 給食に関すること

- ⇒ 栄養のバランス、カロリーなど十分に配慮がされているか。(A (6) B (4) C (0) D (5))
- ⇒ 食材や食器の安全性・衛生面において安心できるか。(A (10) B (3) C (0) D (3))

所見

- ・子どもはいつもおいしいと言っている。(1)
- ・夕食はバランスも良く見た目もおいしそうに盛り付けられていた。(2)
- ・もう少し野菜とフルーツを増やしてほしい。(2)
- ・食事によってはおかずが少ない。特に高校生の男子には少し量が少ないと感じた。(5)
- ・メニューの写真と実物との乖離がある。(2)

9. 防災対策に関して

- ⇒ 防災教育や訓練は実施されているか。(A (2) B (3) C (0) D (4))
- ⇒ 大規模地震等に対する学校の対応は整っているか。(A (6) B (2) C (0) D (4))
- ⇒ 緊急時における保護者への連絡手段は整備されているか。(A (5) B (2) C (0) D (4))

所見

- ・緊急時の備蓄は全校生徒・全教職員の3日分であると聞いて安心した。(1)
- ・緊急時の防災対応について、保護者に十分周知されていないと感じた。特に保護者への連絡手段について不安がある。(2)
- ・消火器は整っているが、いざという時、生徒も使用できるのか疑問に思った。(1)

10. その他

- ⇒ ホームページの更新の状況や内容は適切か。(A (10) B (11) C (0) D (0))
- ⇒ 学級通信、学年通信、部活動通信の内容は適切か。(A (10) B (9) C (2) D (0))

所見

- ・ホームページやR-NETのアルバムなどで、学校の様子がよくわかるので助かる。いつも楽しみにして見ている。(6)
- ・学校通信をもっと増やしてほしい。(1)
- ・学年やクラスの様子がわかりにくい所もある。(1)

11. 上記の項目以外での所見

- ・キャンパスが広く、緑も多く、全体としてとてもおちついて環境がいい学校だと思う。(3)
- ・いつも個別指導など、一人ひとりに寄り添って指導をしていただき、感謝している。(3)
- ・図書館がとても充実している。(1)
- ・廊下ではいつも子どもたちがきちんと挨拶をしてくれる。(1)
- ・タブレットの活用がきちんと行われていた。荷物が少し重くなったのがきになりますが。(1)
- ・食堂が広く天井が高く空気が密にならないこと、また生徒の席が感染しない配慮がなされていて安心できる。(1)
- ・担任や部活顧問と保護者との連絡が密にとれるので大変助かっている。また窓の喚起やアルコールの設置など感染防止についても安心できる。(1)

- ・挨拶ができ生徒が少しずつ減ってきているように感じている。(1)
- ・駅などで一般の方に配慮できない生徒がいるのが気になる。(1)
- ・冷水器や水回りの周辺があまりきれいでないのが気になる。(1)
- ・体を動かすと頭も活発になるという説もあるので、もっと部活の時間を増やしてもいいのではないか。(1)
- ・職員室にどの先生がいるのかが分かりにくい。(1)